

5勝4敗で迎えた十日目、勝ち越しをかけたの磯自慢戦。「頑張り、櫻吹雪」の控えめな親方の檄に緊張してしまっただのか、得意の右からの攻めを封じられ寄り切られてしまった。そして、とうとう追い詰められてしまった。秋楽の相手は西勢ノ里戦。勝ち越しと幕内昇進がかかる大事な一番に十日目よりも応援に力が入る住之江親方。



櫻吹雪●(寄り切り)○西勢里

ここで勝たないとはるばる大阪から来た甲斐がないというもの。しかしその思いも虚しく西勢ノ里の渾身の寄りに屈し、惜しくも勝ち越しとはならなかった。しかし、これがガチンコ勝負の証明でもあり、紙相撲の面白さである所以かもしれない。住之江親方は「ほんまに悔しいですね、また来場所頑張りますわ。」と雪辱を胸に、国技館を後にした。

来場所に入幕を果たしそうなのは、剣将と渡海とともに新入幕となる。剣将の入幕で春ノ翔の土俵入りも磯ノ海部屋力士の力を借りずに自力でできるようになりそうだ。

幕下も決定戦 史上最多の7人戦

四日目を終わって4戦全勝は春日根部屋の西旭と猿飛の二人。千秋楽も勝って両者での決定戦かと思われた。しかし、西旭が島内に猿飛が磯若にとも寄り切られて全勝が消え、4勝1敗で島内、鶴ノ里、磯ノ海部屋から磯



西旭●(寄り切り)○島内

若、磯蛭、磯雷光、春日根部屋の西旭、猿飛の7人による決定戦となった。

7人というのは、過去を遡っても最も多い人数。先場所優勝で連覇をかける磯若と春日根コンビの争いになるかと思われた。しかしながら決戦に勝ち残ったのは島内と磯若の二人。これまで両者の対戦はなく小兵同士でどういふ相撲になるか注目されたが、ともに左を差したところから磯若の体が浮いた一瞬のスキをついた島内倒して決着となった。



島内○(押し倒し)●磯若



磯若○(寄り切り)●猿飛

島内は四日目に勝ち越しを決めてすでに十両昇進を決めていたが、棚ぼたでの優勝も手には椿富士と鶴ノ里。

椿富士は幕下付出から5場所目での昇進。かたや、鶴ノ里は初土俵から6年所要16場所目にして念願の関取昇進である。

播磨屋部屋からは龍不動に続き3人目の関取。苦労人だけに親方にとっては感慨深いものもあるだろう。

播磨屋親方談
「相撲を初めて45年、協会に入会させていた。ただ24年、親方(元龍乃島 含め)やと三人目の関取です。挫けずに続けてきて本当によかったです。」

これも全てうちの部屋を応援して下さる皆様のおかげと感謝しております。(略)
龍不動も勝ち越して私としましては満足いく場所となりました。(略)早く横綱大関と対戦できる地位まで上がって欲しいと願っております。来年もどうぞよろしくお願いたします。」

冬牡丹、夢ノ天、大徳槽、徳皇、鹿ノ郷の5人が陥落となった。元幕内の大徳槽、元十両の冬牡丹と夢ノ天は幕下に陥落してからは関取時代の勢いを取り戻せず、若手の勢いにも押され廃業になった。

三段目へ序の口

三段目は全勝で徳ノ川と磐若が対戦。幕下時代は御嶽富士の四股名で相撲を取り、自力に勝る徳ノ川が磐若を圧倒、幕下復帰を確実なものとした。



徳ノ川○(押し倒し)●磐若



風●(寄り切り)○難波山

注目の秋田部屋の難波山は亀風を寄り切つて勝ち越しを果たし、幕下昇進への足掛かりを作った。

秋田親方談
「(略)秋田勢も最後まで粘りをみせ、よく頑張ってくれました。特に難波山、千曲海の同期の二人は今年全て勝ち越すことができました！これも、皆様の応援とご指導のおかげです。本当にありがとうございます。」

そして、今場所から向正面の枚敷に私の姿を置いてくださりありがとうございます！ダイジエストでも拝見しております。コ罗纳の状況を見て、いつか皆様にお会いできますことを楽しみにしています。

今年一年秋田部屋を応援してくださりありがとうございます。それでは良いお年をお迎えください。」



序二段は三段目から陥落の綱櫻に対するは今場所付出しで初土俵、松ヶ神部屋の碧錦、この碧錦は桐壺部屋で稽古を積んで実力が開花し、初日から4連勝。周囲の期待も膨らんだが残念ながら寄り切りで敗れた。

序の口は全勝の下山田が敗れて、こちらも4力士による決定戦に荒湊を下し投げで下した下山田と笹熊を



碧錦●(押し倒し)○綱櫻



荒湊○(押し倒し)●下山田



下山田●(寄り切り)○柳川

寄り切った柳川との一番は柳川が下山田を寄り切り、序の口の決定戦を制した。(鹿賀乃戸)

人事往来

【定年退職】

- 浦乃浜 (元若錦)
- 竹松 (元竹生島)
- 猿又 (元秀の花)
- 尾里川 (元円海山)

令和4年末で定年を迎える4親方が協会を去ることとなった。とりわけ先代磯ノ海勢の元秀の花と円海山といった部屋のお目付け役がいなくなることから、磯ノ海親方が再び暴走しないかと心配する声もあがっている。

